

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地区の行事には参加しているが、日常的な交流としては課題が残る。	地域に出て行くことでなく、知って頂くことに視点を向け、そこから交流を始める。	玄関ロビーを活用し、月ごとにアネシスの様子を掲示したり、ご利用者の作品を展示したり、お土産にしたりし、間接的ではあるが地域の方々に見て頂く。(認知症カフェに来られる方々や学童に来られる方)。その延長に、直接的な交流を見いだしたい。	12ヶ月
2	24 38 48	アネシスモットーである[ゆっくり・ゆったり・その人らしく]の[その人らしさ]をさらに深く追究し、ご本人らしい生活の質を向上する。	その方だからこそその生活を支援する。	生活歴やその背景を再アセスメントし、よりその方らしい生活を提供する。客観的にできそうな事ではなく、その人だからこそ出来ることや楽しみを見つける。また入居段階での生活歴の把握システムを構築する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。